

2008年岩手・宮城内陸地震に伴う災害被害状況等

平成20年6月30日14:00現在  
 岩手県総合防災室  
 (総合防災室 内線5162)

災害被害状況

区 分		数 量 ・ 被 害 額				担 当 部 課 等	
人的被害	死 者	2 人				地域福祉課(内線 5421)	
	重 傷 者	9 人					
	軽 傷 者	28 人					
住家被害	全 壊	1 棟	1 世帯				千円
	半 壊	3 棟	3 世帯				千円
	一 部 破 損	358 棟	350 世帯		600		千円
	床 上 浸 水	棟	世帯				千円
	床 下 浸 水	棟	世帯				千円
	計	362 棟	354 世帯		600		千円
非 住 家 被 害		13 棟					37,323 千円
農業関係被害	農 業 施 設	63 件				223,725 千円	
	農 作 物 等	84.1 ha				18,856 千円	
	畜 産 関 係	kg	4 頭羽			323 千円	
	農地農業用施設	789 箇所				1,955,000 千円	
	計					2,197,904 千円	
林業関係被害	林 業 施 設 被 害	300 箇所				1,119,383 千円	
	林 産 物 被 害					32,450 千円	
	森 林 被 害	57.4 ha				98,500 千円	
	林 野 荒 廃	39 箇所				6,519,279 千円	
	計					7,769,612 千円	
水産関係被害	水 産 施 設	箇所				千円	
	漁 船	隻				千円	
	漁 具	箇所				千円	
	養 殖 施 設	台				千円	
	水 産 物	kg		個(殻付かき)	1,000	千円	
	計					1,000 千円	
漁港関係被害	調査率 100%	箇所				千円	
土木施設被害	河 川	42 箇所				1,420,000 千円	
	道 路	346 箇所				11,393,300 千円	
	橋 梁	38 箇所				3,374,000 千円	
	砂 防	5 箇所				577,000 千円	
	公 園	1 箇所				1,000 千円	
	海 岸	箇所				千円	
	港 湾	箇所				千円	
	下 水 道	3 箇所				110,400 千円	
	計	435 箇所				16,875,700 千円	
学 校 等 被 害		155 校				228,834 千円	
消 防 施 設 被 害		2 箇所				700 千円	
庁 舎 等 被 害						9,279 千円	
社会教育・体育・文化施設被害						168,314 千円	
社 会 福 祉 施 設 被 害						9,485 千円	
観 光 施 設 被 害		36 箇所				855,543 千円	
医療衛生施設被害	上 水 道	13 箇所				43,929 千円	
	簡 易 水 道	19 箇所				454,390 千円	
	医 療 施 設	16 箇所				47,683 千円	

	衛生施設	2箇所	550千円	環境生活企画室(内線 5327)
	計	50箇所	546,552千円	
商工関係被害	商業関係	166箇所	104,100千円	商工企画室(内線 5528)
	工業関係	125箇所	119,207千円	
	計		223,307千円	
文化財関係被害	41箇所	12,520千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)	
電力関係被害		51,630千円	環境生活企画室(内線 5327)・企業局	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
高圧ガス施設等被害	箇所	千円	総合防災室(内線 5556)	
公営住宅等被害		千円	県土整備企画室(内線 5850)	
船舶被害	隻	千円	総合防災室(内線 5153)	
工業用水道被害		千円	企業局経営総務室(内線 6379)	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
通信関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
(予備 1)		千円		
(予備 2)		千円		
(予備 3)		千円		
計		28,988,303千円		

住民等の被害

- (1) 人的被害 : 死亡2名、負傷37名
- ・ 奥州市 死亡 1名、負傷 32名
  - ・ 一関市 死亡 1名、負傷 2名
  - ・ 藤沢町 負傷 1名
  - ・ 平泉町 負傷 1名
  - ・ 花巻市 負傷 1名

(2) 住家被害

市町村	被害棟数	被害状況
奥州市	206棟	半壊(1)、一部損壊(205)
一関市	117棟	全壊(1)、半壊(2)、一部損壊(114)
花巻市	3棟	一部損壊(3)
金ケ崎町	25棟	一部損壊(25)
平泉町	2棟	一部損壊(2)
北上市	3棟	一部損壊(3)
西和賀町	6棟	一部損壊(6)
合計	362棟	

避難の状況

区分	避難勧告実施		自主避難		避難施設
	世帯数	人員	世帯数	人員	
奥州市	2	4	9	27	
避難所	1	1	4	8	高齢者生活支援ハウス
親戚宅等			5	19	衣川荘
その他の施設	1	3			民間賃貸住宅(個人で借受け)
一関市	23	69			
避難所	10	39			蔵美公民館山谷分館
親戚宅等	13	30			
計	25	73	9	27	

6月25日12:00に、本寺小学校体育館から蔵美公民館山谷分館に避難先を変更完了

各部局における対応状況の特記事項【平成20年6月30日16時現在】

部 局 名	部局における対応状況
<p>保健福祉部</p> <p>(保健福祉企画室 内線 5409)</p>	<p>【被災地住民の「こころのケア」について】</p> <p>(1) 一関市に保健師を派遣(1日2名、延べ24人、期間6月18日から6月29日 まで)し、一関保健所及び一関市と連携しながら、避難住民の健康相談を行うとともに、被災地住民の「こころのケア」のため家庭訪問等を実施。</p> <p>(2) 奥州市に保健師を派遣(1日1名～4名、延べ20人、期間6月25日から7月4日までの予定)し、奥州保健所及び奥州市と連携しながら、被災地住民の「こころのケア」のため家庭訪問等を実施。</p> <p>(3) 精神保健福祉センターが、被災地住民の「こころのケア」のため、現場での関係機関との調整を行いながら、家庭訪問などを実施。また、教育委員会からの要請を受け、県外の児童精神科医とともに、地元小学校等に入り、児童の心のケアへの支援活動を実施している。</p> <p>【公費負担医療費の減免等について】</p> <p>岩手県が実施主体となっている、公費負担医療費の減免措置を行う。</p> <p>1 対象となる公費負担医療</p> <p>小児慢性特定疾患治療研究事業 (いわゆる小児難病患者の入院・通院医療費の助成) 自立支援医療費(育成医療) (身体に障害がある児童の入院・通院医療費の助成) 養育医療給付事業 (未熟児の入院医療費の助成) 特定疾患治療研究事業 (難病患者の入院・通院医療費の助成) 自立支援医療費(精神通院医療) (精神障害者の通院医療費の助成)</p> <p>2 減免の対象者</p> <p>次のいずれかに該当する者 家屋が全壊又は半壊した者 被災により平成20年の所得が著しく減少すると見込まれる者</p> <p>3 減免の方法</p> <p>家屋損壊及び所得の減少額に応じ、患者等の自己負担限度額を引き下げることににより減免する。</p> <p>4 減免の期間</p> <p>平成20年7月1日の診療分から最大平成21年9月30日の診療分まで(制度により終期が異なること。)</p>
<p>商工労働観光部</p> <p>(商工企画室 内線 5528)</p>	<p>【観光施設】</p> <p>旅館・ホテル等の営業休止の状況</p> <p>須川温泉(一関市) 真湯山荘(一関市) 営業再開断念(一関市森林組合(一関市の指定管理者)) 祭時温泉「かみくら」(一関市) ひめかゆ温泉「クアパークひめかゆ」(奥州市) 営業再開は7月18日以降の予定 国見平温泉(奥州市) 以上の施設以外は、通常営業中である。</p> <p>【地震被害対策】</p> <p>1 中小企業者等への相談窓口の設置(6月16日～)</p> <p>地震で被災された中小企業者の復旧・復興を支援するため、県庁経営支援課、県南広域振興局、関係機関(商工会議所、商工会等)に相談窓口を設置し、相談業務を行っている。</p> <p>2 金融支援</p> <p>風評被害等により経営が不安定な中小企業者に対して、「中小企業安定資金」などの利用を進めるとともに、災害救助法の適用を受けた市町村区域において、罹災した中小企業者が利用できる低利の「中小企業災害復旧資金」について、6月議会定例会での提案を準備している。</p> <p>3 観光施設等に対する風評被害対策</p> <p>観光施設の被害や復旧状況等について、災害直後に岩手県ホームページ「緊急・災害情報」中、「岩手・宮城内陸地震に伴う観光情報」として掲載(岩手県ポータルサイト「岩手の旅」トップページにリンク)するとともに、全国規模のイベントの場において正確な情報提供を行っている。</p>
<p>農林水産部</p> <p>(農林水産企画室 内線 5623)</p>	<p>【農地・農業用施設の復旧等】</p> <p>石淵ダムの緊急放流を実施したことにより、取水量が平年の半分以下になっている。このため、胆沢平野土地改良区では、受益9,560haの輪番通水や節水対策について、農家に通知。</p>